

第 111 回 薬学教育協議会 病院・薬局実務実習近畿地区調整機構委員会 議事録 (確定)

日時：2021 年 7 月 16 日 (金) 18:00 ～ 20:00

場所：web 開催

出席者 (順不同、敬称略)：

大阪府病院薬剤師会	竹上 学、土井克彦
京都府薬剤師会 (病院)	四方 敬介、橋元 誠
兵庫県病院薬剤師会	室井延之、矢野育子、槇本博雄
滋賀県病院薬剤師会	山川雅之、早川太朗、伴 正
奈良県病院薬剤師会	奥野智之、小川恵美子
和歌山県病院薬剤師会	篝 忠宏、河崎尚史
大阪府薬剤師会	乾 英夫、伊藤憲一郎、堀越博一
京都府薬剤師会	河上英治
兵庫県薬剤師会	笠井秀一、三宅圭一、住谷庸子
滋賀県薬剤師会	隠岐英之、渡邊真樹
奈良県薬剤師会	堀本佳世子、楠本真也
和歌山県薬剤師会	稲葉真也、竹谷美賀子
京都薬科大学	橋詰 勉、津島美幸
京都大学	山下富義、津田真弘
同志社女子大学	芝田信人、関本裕美、成橋和正
大阪大学	上田幹子、廣部祥子
大阪薬科大学	角山香織、井上 薫
近畿大学	大鳥 徹、小竹 武
摂南大学	菊田真穂、辻 琢己
大阪大谷大学	名徳倫明、小畑友紀雄
武庫川女子大学	内田享弘、田内義彦
神戸薬科大学	山本克己、濱口常男、猪野 彩
神戸学院大学	徳山尚吾、森本泰子
兵庫医療大学	清宮 健一、桂木聡子
姫路獨協大学	白木 孝、柳澤吉則
立命館大学	藤田卓也、角本幹夫
和歌山県立医科大学	須野 学、安原智久
徳島文理大学	四宮一昭
徳島文理大学香川校	二宮昌樹
就実大学	島田憲一
福山大学	片山博和
監事：	谷口昌彦 (奈良県病院薬剤師会)
薬学教育協議会：	平田收正 (和歌山県立医科大学)

会議の開始前に、濱口委員長より、今回の会議開催直前の訂正、追加資料などの送付に関する説明がなされた。また、今回から参加の新委員の紹介があり、京都府薬剤師会（病院）の橋元 誠先生、和歌山県病院薬剤師会の河崎尚史先生にご挨拶を頂いた。さらに、薬学教育協議会業務執行理事の平田 收正先生（和歌山県立医科大学）には、本会に引き続き参加頂くことが承認された。

その後、会議が開始され、第 111 回病院・薬局実務実習近畿地区調整機構委員会次第にしたがって進められた。

### 協議事項：

#### 1. 2021 年度近畿地区調整機構の運営体制（案）について

（協 1：一般社団法人 薬学教育協議会 病院・薬局実務実習近畿地区調整機構（近畿支部）

##### 2021 年度 運営体制（案）

濱口委員長より、資料（協 1）にしたがって、近畿地区調整機構の新規運営体制についての説明がなされ、承認された。

【支部役員・監事・運営委員会および小委員会等】

- 支部役員

副委員長 竹上 学先生（大阪府病院薬剤師会）→ 矢野育子先生（兵庫県病院薬剤師会）に交代

- 監事

前任者の一人が退職されたが、追加の人選はなし

- 運営委員会

変更なし

- 小委員会

【実務実習指導養成小委員会】 変更なし

【2021 年度テキスト小委員会】

大鳥 徹先生（近畿大学）、辻 琢己先生（摂南大学）、津田真弘 先生（京都大学）が新委員に着任

- ワーキンググループ等

【WEB システム作業部会】 変更なし

- 近畿地区からの委員

【薬学教育協議会 薬学教育者ワークショップ実施委員会】 変更なし

#### 2. 2021 年度実務実習について

濱口委員長より、2021 年度の第 1 期の薬局実務実習、第 2 期の薬局・病院実習の実習中断・延期および中止などに関する状況説明がなされ、承認された。なお、開始時期の延長は 8 施設であり、中止・変更は 10 施設（大阪府 7 施設、兵庫県 3 施設）であった。

#### 3. 2022 年度実務実習施設調整等（案）について（協 2-1 ～ 協 2-3）

（協 2-1：2022 年度実務実習施設調整等について（案））

濱口委員長より、資料（協 2-1）にしたがって、2022 年度実務実習施設調整等についての説明がなされ、承認された。

なお、調整の考え方（申し合わせ事項）は 2021 年度の考え方に従っており、現在まで予定通りに進んでいることが確認された。

2022 年度実習受入施設における受入可能人数の確認において、大学による病院施設の受入可能人数の確認は 7 月 16 日が締め切りであったが、その時点で約半数の大学から回答があったとの報告があった。なお、未提出の大学に対しては、7 月 21 日からの WEB ホームページへの病院実習希望 1 次エントリーに間に合う様に、7 月 19 日までの提出が求められた。さらに、大学による薬局施設の受入可能人数の確認報告は 9 月 10 日を締め切りとし、再調整を含めて 9 月下旬に完成させることを目標にしているとされた。

なお、実習施設のエントリーにおいて、故郷地区と近畿地区との二重エントリーが許可されている地域は、静岡市内、名古屋市内、岐阜県、福岡市内、徳島県であることが提示された。なお、たとえ故郷における施設が確定していなくても、11 月 30 日までに近畿地区内のエントリーは解除することとし、それ以降に故郷から中止連絡があれば、近畿地区で再度エントリー出来ることが確認された。

実習施設調整の方法と開始時期において、各府県病院薬剤師会による 1 次エントリーデータの確認およびエントリーデータ（学生情報を含む）を各府県薬剤師会に提出し、最終調整を依頼すること、併せて大学から各薬局への連絡解禁日の提示をお願いすることなどが確認された。

### 【質疑応答】

橋詰 勉先生（京都薬科大学）から、病院の 2 次調整（WEB 上での大学間調整）を 8 月 26 日まで完了予定であるが、その結果について各府県病院薬剤師会へ報告はあるのかとの質問がなされた。それに対し、濱口委員長から 8 月 27 日に関係機関へ連絡すると回答があった。

さらに、配慮の必要のある学生への対応についても質問がなされたが、当該学生がある場合は、学生が所属する大学はあらかじめ希望する施設に問い合わせをし、7 月 21 日の 1 次エントリー前に、その情報について事務局に連絡する方針が示された。もし、ある施設に対して定員以上の希望学生があった場合には、2 次調整前に関係大学に対してその事情を伝え、該当大学間で調整するが、この段階で移動になった大学の学生は、たとえ 1 次エントリーで定員を超えている施設であっても再登録が可能であるとされた。

#### （協 2-2：2022 年度・2021 年度の近畿支部別学生数（4 年次生））

濱口委員長より、資料（協 2-2）にしたがって、2022 年度・2021 年度の近畿支部別の 4 年生学生数について説明がなされ、承認された。なお、この表には故郷実習に行く学生も含まれていることが追加説明された。

#### （協 2-3：2022 年度近畿大学の附属病院での実習を予定する学生の地域別人数について）

濱口委員長より、資料（協 2-3）にしたがって、2022 年度近畿大学の附属病院における実習を予定する学生の地域別人数について説明がなされ、承認された。

#### 4. 2022 年度実務実習の日程について(案)（協 3）

##### （協 3：2022 年度（令和 4 年度）実務実習日程（近畿地区）（案））

濱口委員長より、資料（協 3）にしたがって、2022 年度の近畿地区における実務実習の日程について説明がなされ、承認された。

特に、第 I 期実習期間が 49 日間と短いため、実習期間中の 2 日間の土・日曜日等を利用する提案などがなされた。

## 5. その他

濱口委員長より、近畿地区調整機構のホームページの充実に向けた今後の方針について説明がなされた。

ホームページに施設概要の記載、委員会の議事録、コロナ情報などの提供など、さらなる充実を計画していることや、サーバーのセキュリティサービス期限も 2023 年度になっており、これらの対応も含めて、予算・費用などの検討を行い、10 月の本委員会会議にて提案する予定であることが報告された。

### 報告事項：

1. 令和 2 年度第 III 期・IV 期および令和 3 年度第 I 期の実務実習に関わる報告について  
(報 1-1 ～ 報 1-5)  
(報 1-1: 令和 2 年度 第 III 期・IV 期実務実習に関わる報告書)  
(報 1-2: コロナ禍において工夫したこと、コロナ禍で特に問題になったことなど (令和 2 年度 第 III 期・第 IV 期実務実習))  
(報 1-3: 令和 2 年度 第 III 期・IV 期実務実習の良い事例報告書)  
(報 1-4: 令和 3 年度 第 I 期実務実習に関わる報告書)  
(報 1-5: コロナ禍において工夫したこと、コロナ禍で特に問題になったことなど (令和 3 年度 第 I 期実務実習))

濱口委員長より、資料 (報 1-1 ～ 報 1-5) にしたがって、令和 2 年度第 III 期・IV 期および令和 3 年度第 I 期の実務実習に関わる報告について近畿地区の事例を中心に説明された。実習期間中の就職活動に関しては、原則として実務実習を優先することが確認された。

2. 2021 年度 WS 実施計画 (近畿地区) (報 2)

(報 2: 2021 年度認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ (薬学教育者ワークショップ) in 近畿開催計画)

濱口委員長より、資料 (報 2) にしたがって、近畿地区における 2021 年度の認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップの開催予定について説明がなされた。原則として、対面式 (集会式) で行いたい、web 開催を含めた方式に関する最終決定は、概ね一ヶ月くらい前に決断するとされた。

また、次回開催予定校の橋詰 勉先生 (京都薬科大学) から、現時点では対面式での実施を考えているが、状況に応じて対応することが報告された。

さらに、実務実習指導養成小委員会委員長の安原智久先生 (和歌山県立医科大学) から、1 週間後くらいから、濱口委員長、橋詰先生と開催方法についての検討を開始し、最終的な判断をするとの追加報告があった。

### 【質疑応答】

堀越博一先生 (大阪府薬剤師会) から、認定実務実習指導薬剤師の認定業務が薬学教育協議会から日本薬剤師研修センターに移管することによって、現在の認定薬剤師の位置付けや今後の認定制度の動向について質問がなされた。

まず、濱口委員長より、移管については承知しているが、認定薬剤師に関する具体的な対応についての連絡はないとの説明がなされた。

続いて、隠岐英之先生（滋賀県薬剤師会）から、薬学教育協議会 薬学教育者ワークショップ実施委員会において、移管の報告があったが、その後の具体的な対応策については特段の議論はなかったとの報告があった。

なお、平田收正先生（和歌山県立医科大学）からも、補足説明があり、研修センターから協議会への移管は確定しているが、更新によるトラブルや指導薬剤師への負担がない方向で検討しているとされた。

### 3. 令和 2 年度実務実習実施結果および令和 3 年度在籍者数の調査結果（報 3-1 ～ 報 3-4）

（報 3-1: 令和 2 年度実務実習実施結果（病院））

（報 3-2: 令和 2 年度実務実習実施結果（薬局））

（報 3-3: 令和 3 年度在籍者数（6 年制学生））

（報 3-4: 令和 3 年度在籍者数（4 年制学生））

濱口委員長より、資料（報 3-1 ～ 報 3-4）にしたがって、令和 2 年度実務実習実施結果および令和 3 年度在籍者数の調査結果について説明がなされた。

### 4. その他（報 4-1）

（報 4-1: 令和 3 年度 第 1 回薬学教育者ワークショップ実施委員会）

隠岐英之先生（滋賀県薬剤師会）および平田收正先生（和歌山県立医科大学）から、資料（報 4-1）にしたがって、令和 3 年度 第 1 回薬学教育者ワークショップ実施委員会の報告がなされた。

現状の新型コロナウイルスの感染拡大状況を考えると、本年度の WS についてはオンライン開催を中心に、あるいは少なくともオンライン開催への切り替えを前提に実地（対面）での実施を考える必要がある。そこで、令和 3 年度の各地区における WS の実施状況および実施予定について情報の共有化を図り、質の高い WS に実施に努めたいことなどの説明がなされた。

また、令和 2 年度第 1 回薬学教育者ワークショップ実施委員会で協議した WS のプログラム改訂については、ワーキンググループによる改訂案の作成を進めるが、新型コロナウイルス感染が収束しない状況で令和 3 年度中に WS に導入することは難しいと考えられるので、令和 4 年度から予定されている実務実習指導薬剤師養成事業の一元化に合わせて改訂プログラムでの WS 実施を図る予定であることも併せて報告された。

さらに、薬学教育協議会から、薬剤師研修センターに認定実務実習指導薬剤師の認定に関わる業務の移管についての依頼を行い、同センター理事会で承認を頂いたことを受け、今後「実務実習指導薬剤師認定の実施に向けた準備検討委員会」を設置し、本件について協議を行うことが説明された。

なお、今後のアドバンスワークショップの在り方についても検討がなされており、併せてオンラインでの実施に対応出来るタスクフォースの養成も依頼された。

（文責：神戸学院大学薬学部 徳山 尚吾）